



## 上司の不得意やうっかりミスはあくまで「さりげなく」フォローする

上司は会社の役職があなたより上というだけ。完璧な存在ではありません。部下にうっかりミスがあるように、上司だってミスをすることがあります。

何の自慢にもなりません。私はこれまでうっかりミスを山ほどしています。でもそのうっかりミスが大ごと、大問題にならないのは、私をフォローしてくれるすばらしい部下たちがいるからです。

役所勤めをしていたころは、政治家との交渉や会議をうまく進めるために、関係方面のキーマンに事前説明に行く、いわゆる「根回し」をしなければいけないことが多くありました。

根回しをする相手が一人、二人ならいいのですが、何人もいて、しかもそれぞれの相

手にどこまでどんな話をすればいいか、全て覚えておくのはとても無理です。そんなとき、相手と話す直前に過去のデータをさっと出してくれたり、効率的に相手との面談の予約をとってくれる部下は、本当に頼りになりました。

最近では大学以外の仕事も多く、自分自身のスケジュールを完全に把握できていないこともしばしば。もちろん「明日はインタビューがある」などという予定そのものを忘れることはありません。

でもインタビュー中に「写真撮影をするのか、しないのか」などという細かいことを、きつちりと覚えていないことがあります。そんなとき、「明日は写真撮影がありますよ」と、部下が一言知らせてくれると、とても助かるのです。

### 男性上司の面子をつぶさないよう、気配りを

上司の立場からいわせてもらおうと、自分にできないことをやってくれる有能な部下がいると、もう一つ別の頭というか分身を持つているように感じます。

また、自分にできないことを部下がやってくれるということは、自分は得意なことに集中できるということでもあります。まるで自分の能力が2倍になったように、気持